

## ぜん～21度目の呼吸～ 日記

### 11月2日

秋も深まり、連日は干し柿作りに、私は個展の制作に、おじいさんは山に芝刈りに、おばあさんは川に洗濯に…笑

壁面制作は、まずは台紙のクラフト紙のロールを買ってギャラリーのタッパに合わせ断裁。糊で繋ぎ合わせ、布テープで補強、天井に吊るワイヤーの取り付けと、仕事と家事の合間に地味な作業を繰り返す。音の苦手な同居猫のシバが、大きな台紙を動かす度に跳ね起きて逃げ出す。

「制作期間はどれくらい？」とよく聞かれますが、実際に集中するのはひと月足らず。でも本当は、仕事も家事も、舞台や映画をみたり、合気道やダンスをしたり、誰かと何気なく話したり、何もせず自然の中や、家で無意味にダラダラしてる瞬間だって全て制作なんです。

### 11月5日

年齢を重ねてきて体力がなくなった分を、経験と知恵でカバーする。

個展の壁面制作で半紙約2000枚を糊で貼る。糊は小麦粉から作ったものだが、長年の経験で手早く良質なものを作れるようになった。いい糊が出来ると貼る作業効率もいい。巨大な壁面を乾燥させる方法も工夫して手早く進めた。予報を外れた雨天に閉口したが、たぶん例年より倍近く早い。

基礎の準備の大切さや経験と知恵は、どんな仕事や人生も同じですね。たまに甘えて邪魔してくる同居猫の襲撃もまたおかし(o^ ^o)

### 11月9日

【ある日突然、世界堂やユザワヤから白クレヨンが消える事件に関する調査報告】

犯人は私です。来週から開催する空間創作の個展壁面制作。台紙に貼った半紙が乾いたら、破れなどを補修して乾燥。大きな白い紙の上で白クレヨンを走らせる。

描くというより無心に踊り狂う感覚に近い。両手に白クレヨンを持ち、回ったり跳ねたり転んだり、手にはめた軍手や折角補修した紙も破れて穴があく。汗が滴り、途中途中で紙の上に大の字で仰向けに倒れ込む。BGMはなぜか決まってバッハの無伴奏バイオリンである。

身を削ってチビた白クレヨンの数は54本。ギネスに申請すれば【個人が一つの作品に一日で費やした白クレヨンの本数世界一】に認定されるかも知れません。奇しくもこの日は「ギネス世界記録の日」でした。

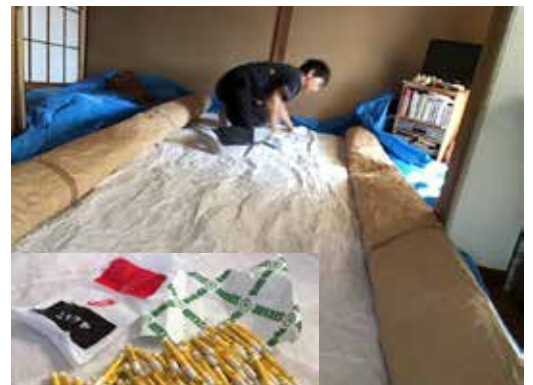
さて今日は終日仕事で身体を休めて、天気の良い週末に壁面を一気に描きます。

### 11月12日

よく晴れた週末。開催前ギリギリで壁面制作が完了した。後は乾燥を待つばかり。そして梱包してよいよ搬入準備です。

例年丸一日でこなす壁面仕上げの制作を2日に分けました。去年開催後に腰をやってしまった反省もあり年齢的な体力も考えた。今回から掃除用のモップで描き線に動きと勢いを出したかった。使った墨汁は450mlを8本余りと、これも個人が一つの作品に1日で使う量としては記録的かも。

先日、初めて演劇の舞台に立つことになった友人のTさんが、大変な稽古を続



ける自己記録を更新しているとメッセージにありました。考えてみたら誰もが毎日生きているだけで人生は自己記録更新中ですね。

空間壁面は墨の黒が目立ち暗い印象を受ける人もいます。その中に墨の入っていない紙の白い部分を観る人もいます。白いクレヨンの線を目で追う人もいます。落ちて混じり合った色を感じる人もいます。どう見て感じるかは人それぞれだ。

## 11月13日

もう10年同居してるシバさん。相変わらず甘えん坊で私のいる場所に着いてくる。個展搬入準備でなかなか布団に入らなかったら、近くに布団がないので仕方なく壁面制作で下に敷いてた汚れた新聞紙の上に鎮座して待ってた( ^◇^ )

旅先で個展開催中にギャラリーで流す自然の映像を撮影していましたが、誤って消してしまいました。夜明けとともに近くに撮影に行く。庭先や街路樹、公園など身近なところにも自然は奇跡のような豊かさに溢れている。



## 11月15日

明日から開催の個展搬入も無事に終え、昨夜は壁面と床を包んだギャラリー空間で前からやってみたかったダンス映像を撮影しました。

この個展で知り合ったCIダンサーのYさんと、その即興ジャムで知り合ったBさんに協力してもらい、自然×ダンス×アート?のコラボ映像作品。開催中にギャラリーで常時映していますので、ぜひご覧ください( ^ ^ ) ♪

この日、制作中の会場に入って来て話した初対面のM野さん。夜にダンスやっていますと伝えたら観に来てくださり、ついでに急な撮影カメラマンもお願いしました( ^ω^ )「まさか吉田さんも踊っているとは!？」と笑って、別れ際にお名前を聞きました。即興ダンスとは知らずに相当稽古を重ねたダンスだと思ったとか。開催中にまた訪ねてくれるそうです。

開催前日の今日も夜8時頃まで公開制作中です。

## 11月16日

今日が21回目の個展初日、昨日はほぼ空間が完成したところで施設内の馴染みの喫茶店へ。開催中入口に置く言葉の文章を最終校正、この言葉が「なんだか懐かしく、素晴らしかった!」感激をわざわざ翌日伝えに来てくれた年配の方もいた。

今回の空間内にはくつろぎスペースを2つ創りました。一つは懐かしい夏の、もう一つは懐かしい冬のあの古き良きあれがモチーフです。気になる方は、ぜひ会場でお確かめください。

図書館の見える喫茶店で、ママさんに応援され、都内でここでしか飲めない香り高いサザコーヒーと美味しいマロンソフトを食べました。個展に来た帰りにぜひ( ^ ^ )

## 11月17日

展示会初日、空間には平日にも関わらず途切れなく訪問者がありました。施設内の馴染みの喫茶店からはポットいっぱい珈琲とお菓子の差し入れも。故郷の姉からも美味しい地元の和菓子が。

準備中に「素敵ねー」断って入ってくる人、準備中から眺めて「楽しみにしてました」と空間に入る人、最近30年ぶりに再会して夫婦で来てくれた恩師、去年出会って来てくれた人との再会、人伝で初めて来た人、馴染みのミュージシャンやダンサー、住んでる家の隣人、演劇を始





めたばかりの友人と長年の演劇人。友人家族に、偶然入って来た親子。今年の春に来日したばかりの中国人学生。皆寛いで故郷のお茶を飲み笑い合い、創作した穴蔵？や小部屋？で語らい、寝たり奏でたり歌ったりまったり。初対面で偶然同じ故郷だったり、やりたいことが重なったりシンクロシティも生まれた。

その場に居合わせた人の前で、去年出会ったミュージシャンMSさんの歌があり、初対面でマッサージした人で疲れがとれたダンサーTSさんが踊りだしたり、即興ライブパフォーマンスも(^ ^)

今日は20年ぶりに個展会場で舞踏家のKMさんの踊りが午後3時頃から始まる予定。目撃したい方はぜひ。踊りたい方も歌いたい方もぜひ\\(//▽//)

## 11月18日

「アートの力はすごい！」「泣きそうになる」そんな出会いの場にもなる。

空間創作展2日目、午前中に会場を開けると、早速小さなお客さんと親たちが訪れ賑やかな音楽会に。ダウン症の子たちのリトミック教室の帰りに寄った団体。入れ替わり赤ちゃん読み聞かせ後の赤ちゃんとお母さん。笑いヨガの集まりの帰りに気になって寄った女性たち。

ダウン症の子の父親は空間内の小部屋が夏の蚊帳と冬のかまくらだと説明すると、それだけで泣きそうになると言葉にした。赤ちゃんの母親同士は蚊帳の中、初対面で親しく話した。笑いヨガの参加者は紙のかまくらの中で歌を披露し、聴き、偶然居合わせたネイティブアメリカンフルート奏者の友人Tさんを招き入れ、歌と演奏を聴き、涙し、素敵な時間を共有した。思いがシンクロした女性のひとりが口にした。アートの力はすごい。

初対面でも親しく語らう人、仕掛けに気づいて遊ぶ子どもたち、空間内でずっと踊り続ける人、それぞれの人がそれぞれの思いで今を存在する。

最初に初めて訪れてくれた合気道仲間が「吉田さんが著名な芸術家だったらどうしようかと!？」と引いていたので「ただの無名の変人です」笑

この空間創作展示会の3回目以来20年ぶりに空間内で舞踏家Kさんが踊り、居合わせた人と駆けつけた知人らが眺め感じた。

偶然の出会いのようで、出会うべき必然がある。「この場所とこの時間が、今の私に必要なんだ」何人かが私に伝えてきた。楽しそうに楽器を奏で、玩具で遊び、語らう人の瞬間が、二度とない作品となる。

## 11月19日

「浦島太郎みたいに、この異空間を出たら外の世界は数十年が過ぎてるかも？」喜んで遊ぶ子どもたちを眺めながら初対面の女性2人が笑いながら口にした。「最初にナビゲートしてくださった声も素敵ですね」と私のバリトンボイスも褒めて戴きました(^ ^)

空間展示会3日目の日曜日、ここで出会った20年の付き合いになるAさん(元・清掃で働いていた)が友人のお陰で遠い施設から久しぶりにこの場所へ。顔見知りの職場の仲間だった警備の方や喫茶店のママ・スタッフの方と再会の喜びを分かち合いました。

ご近所さんや、古民家ハウスコンサートを開催しているOさん家族も訪れ、四年前に作った合唱曲を歌ってくれた合唱団代表のKさんも東京での予定を繰り上げ来てくださり、退職した恩師やこの個展初回から迷惑かけた施設の方、亡き恩人の同級生や、いろいろな場所で出会い関わり合う人たちとこの空間を共有できた喜びに感謝ばかりです。ありがとう(^ ^)

それぞれ初対面の人同士が、この場所で偶然出会い、昔からの親友のように語





らう姿は何より嬉しい。はしゃぎ回る子どもたちと、子どもに戻る大人たちが、今この瞬間の空間作品を完成させる。

本日月曜日が最終日。たくさんの差し入れをいただき、希少な絶品の日本酒もいただきました。今日の開場時間後の夜7時から夜9時過ぎまでギャラリー空間で一杯やりたい方がいましたら、ぜひメッセージください。おつまみ一品持ち寄り「夜ぜん」の宴をやしましょう \(/ \nabla /) !! ただ飲みたい方、歌いたい方、踊りたい方、美味しいお酒とお菓子のお土産付きでお待ちしております。

## 11月20日

21回目の空間展示会、無事に最終日を終わることができました。お忙しい中、遠いところ、お疲れの体を運んで訪れてくれた皆様に感謝です(^ ^)

最終日も平日に関わらず、途切れなく訪れる友人、知人、活動の仲間、仕事の恩人、初対面の方、再度来てくれた人たち。不思議なシンクロシティで知り合い同士が同じ時間に鉢合わせという奇跡が繰り返し起こった。

ちょうど人が多い時間に、前回知り合ったミュージシャンのMさんが歌を披露し、その歌詞と友人の牧師さんが今読んでいた本の言葉が重なり、居合わせた年配の女性たちと語り合った奇遇も。

この日の朝に思い立ち、開場時間後の夜7時から施設閉館まで「夜ぜん」と題していただいたお酒で一品持ち寄り飲み会を企画。四半世紀の友人や、CI即興ダンスの別々の場所で知り合った素敵な女性たち、この個展で知り合ったデュジュリドゥ奏者らと絶品の日本酒で乾杯した。最後に遅れて来た友人と幼い娘さんや、施設近くの不思議な花屋?さんとカマクラドームの中でデュジュリドゥの音と赤ちゃんのエネルギーに癒されました。

始まる前は今年は辞めようかとも迷った空間創作個展。終わってみれば、たくさんの人の思いと、優しさと、奇跡が生まれ、再会と新しい出会い、生きることの再発見に溢れた時間になりました。ありがとうございました。来年もまた感謝を胸にやらせていただきます。

## 11月21日

「写真撮っていいですか? SNSとか載せても?」空間展示会のバラシと搬出は朝から丸1日かかり、前夜の「夜ぜん」飲み会の片付けから開始。最中に入って来て写真を撮り話しかけてくる人、昨日で終わったと知って残念そうに帰る人。

玩具や楽器、人形や水流、椅子や机や蚊帳などを片付けたところで、奥のかまくらドームだけ残して高い脚立の上から空間を俯瞰してみました。シンプルにこれだけの方がアートっぽいね(^ ^)笑

搬出でヘロヘロになりながら、来年は「夜ぜん」を最初から告知しようとか考えつつ、帰り際に今回珈琲やお菓子などいっぱい差し入れてくださったなかのZEROの喫茶店・カフェぐり〜んのママとスタッフさんにお礼を言って施設を出て、売り物のコロッケを差し入れてくれた駅に向かう途中にある花屋さんに顔を出した。今年もお世話になりました。ありがとうございました。



10年ほど前にこのギャラリーで家屋模型展をした赤塚俊雄さん。入所している施設から友人(奥)が連れて来て当時から知る施設スタッフらに囲まれて歓談していた。右のエプロンの女性が施設内カフェのママみどりさん。



## 12月7日（おまけ）

ずっとやってみたかったことが叶いました。  
先月開催した個展の創作空間での即興ダンスの撮影映像制作です。

8年前の2010年秋、15回目の個展でYさんとCI（コンタクトインプロビゼーション＝関係性と場を感じて踊る即興ダンス）に出会い、今年そのYさん主催のジャムで出会った中国から来日中の舞踏家BさんとYさんに協力してもらって、個展搬入当日の壁面と床面だけ設置した空の創作空間でCIでの撮影が出来ました。どんな相手とのコンタクトでもダンスにしてしまう素敵でダンサーYさんと、しなやかでパワフルで遊び心いっぱいのBさんとのコンタクトなら、ダンサーでない私の身体でも絵になるのではと挑戦です。

私にとって踊ることは身体の中の記憶を探すこと。その身体で絵を描くこと。でもCIを踊っていると触れ合う相手との間に生まれる物語を楽しみ、日常を超えた宇宙を垣間見る瞬間さえある。搬入と1人での会場設営の後で身体はくたくたに疲れていましたが、それを忘れるぐらい楽しい時間でした。YさんとBさんに出会えたことに感謝して。ありがとう。

写真の踊り終わった後のお二人の笑顔が印象的でした。絵は個展終了後にBさんの舞踏を初めて観に行った印象をスケッチしたものです。

搬入中にギャラリーに入って来て話しかけてきた男性に、夜にダンス撮影しますと話したら観に来てくださり、空間に招き入れたら「かなり練習したんでしょう？息がぴったり合って…！」と即興とは思えなかったらしい。その後、唐突に彼にビデオカメラを渡して撮影してもらいましたが、その時はほぼ遊びで笑って踊ってましたね（^ ^）



上は20年ぶりにこの展示会で舞踏を披露するクボタマサミさん。  
元・寺山修司主催の劇団「天井桟敷」で「地球空洞説」の主演もした伝説の人。

下は「夜ぜん」の様子。デュジュリドゥを吹くあだっちゃん





## ぜん ～21度目の呼吸～ 感想

吉田了介さんの空間創作展示会、「ぜん」に伺いました。  
昨年、お友達の紹介で、偶然に訪れた吉田さんの展示会。温かく、素敵で、今年もまた行きたいなあワクワクしていました。  
今年は去年と少し趣が違って、夏の空間と冬の空間があり、どちらも居心地よく、遊びゴコロたっぷり童心に返れる空間。  
おもてなしに出していただいたお茶とお菓子が吉田さんのふるさと岐阜のものでとても美味しかったです。  
吉田さんとは一年ぶりにお会いしましたが、気さくな人柄と話しやすさ、魅力的な人です。  
お時間ある方は是非訪れてみてはいかがでしょうか？  
(ようこ Ho さん)

今日は、吉田了介さんの空間創作展示会『ぜん』に行ってきました。  
昨年初めて連れていかれるままにお邪魔し、了介さんと了介さんの作品とのなかなかパンチのある出会い。私にとっては今回は2回目の了介さんの展示でした。  
今年も本当に来て良かったなあって。  
空間表現の展示の中で去年のことを思い出してみたり、音を鳴らしたり、寝転んでみたり、マジマジと見つめたり。なぜか今年も展示の中で歌を歌うことになったり、美味しいお茶を頂いたり、初対面の方とお話したり、いろんな要素のある展示だし、ライブ感あるなあと思った次第です。  
お時間ある方はぜひ訪れてみてはいかがでしょうか。  
生で見ると全然違うので、ぜひ生で体験していただきたい！  
(モリタ サオリさん)

やっと行けてよかった！  
こういう空間、こういう時間が今の私に必要だったんだな、……。  
大好きな先輩方にも再会できて、本当に贅沢な時間でした。  
いつもありがとうございます！  
了ちゃんすごく久しぶりなのに、そんな気がなくて、、、朝、菊ちゃん（同僚保育士）に連絡したらなんと偶然にも行くよって。そして文ちゃんにもずっと会いたかったし、そこにいらした方みんなが知り合いのような感じが、心地良かったです。  
ずっと居られる空間、、、  
また明日から頑張れそうです。  
(ぶんちゃんの元同僚・もりたかずみさん)

ヨシダリョウスケさん個展  
【空間詩 ぜん ～21度目の呼吸～】におじゃましてきました！  
五感で楽しめる展覧会。  
おとながこどもになれる。  
リョウスケさんも来場者も誰もが舞台役者のようにになれる空間。  
どこか懐かしくてちょっと怖くて優しい空間。  
ぜん今年も楽しませていただきました。  
初対面の方ともお話が弾むのもぜんの魅力ですね  
(アーティスト・ゆにここのさとみさん)

「空間詩 ぜん～XXI度目の呼吸～」に行ってきました。  
宝箱の中みたいだった。子どもの頃、「世界は不思議に満ちていた」あの感じ！  
落ち葉をひっくり返すと 虫たちが眠っていたり、塀の穴から中に入ると知らない空間が広がったり、上からぶら～んとミノムシ揺れてたり。  
そんな感覚が蘇りました。  
ここには 面白いしかけがいっぱい！  
竹と水のオブジェ かと思いきや、竹には一本一本、穴が空けられてて吹けるように！  
無造作に置かれた数本の筒は、持ち上げるとレインスティックだった！！サララップの芯で作られたもの、ガムテープの芯で作られたもの、それぞれ太さ





長さも違う。

「あけるな」の木箱、だるま落としに けん玉、アコーディオンに ギター、小さな鉄琴、いろんな楽器も置かれてて、

即興舞踏が始まったり、子どもたちがあれこれ鳴らしたり、途中で、椎の実をもらって食べました。生の椎の実、初めて食べた！

岩の窪みに納まってる 大きな折り鶴は 始祖鳥みたいでした。深夜になると、きつと岩から離れて、鳴き声とともに あの部屋を飛び回っていきそう！

あさって 19 日まで なかの ZERO にて。

<https://www.facebook.com/events/187835375485172/?ti=icl>

楽しいよ！

P.S. 最後に撮った 重い岩の写真、あなたは持ち上げられるかな～？

(たみこわたなべさん)

なかの ZERO にてヨシダリョウスケ

空間詩「ぜん、XXI21 度目の呼吸」を見てきた。

体感した、と言うべきか。迫力の空間表現。体内回帰か？

色々な人と知り合う交差点。興味ある方は是非。19 日迄。

(保育士・いとうようこさん)

自分が主催する「Dance project 非日常が日常になる。」で撮影、映像を担当をし、大変お世話になっている吉田さんの不思議な空間におじゃましました。

とても心地よく何度も訪れたいくなるそんな空間です。

実際何度も訪れた方もいらっしゃる程。

そんな空間も今日までなので是非是非。

中野 ZERO まで遊びに来て頂きたいです！

本当にもう一度、あの空間に行きたかった！

来年は 3 回くらいお邪魔しようと思います！

(振付師・ダンサー やえおめぐむさん)

昨日は、ダンス仲間の了介さんのインスタレーションを堪能してきました。

なんでしょう、本当に特別な空間で、すべてがリアル、というかシュールで、あつという間にトリコになりました。

まだ自分の中で整理できていないところもありますが、闇と美しさが静けさの中で共存しているような空間でした。

初めての舞踏鑑賞の機会にも巡り会い、まったく予備知識がなかったのですが、能にもつながる日本的な官能の境地を垣間見ることが出来たように感じました、ものすごくパワフルでした。

お誘い頂き、本当にありがとうございます。

今から、次回どんな空間が待っているのか楽しみです。

(ダンサー・やすだたけしさん)

貴重な時間でした。

ありがとうございました。

さてここで私も友達の毎年恒例の展示会を訪れました。

この展示会は特別です。ここでは、すべての訪問者が自然に創造的な創造を求めているので、とても素晴らしいです！

ちょっと寄ってみようと思って、3 時間で終わりました ..。

会話で、お茶と一緒に、ライブ即興音楽、運動をしています ...。

吉田了介さん、貴重な時間でした。

ありがとうございました。

(ロシア人ダンサー・ブルコワエレナさん)

短い期間なのが勿体ない気持ちでいっぱいです

お疲れ様でした！

(ダンサー・つつみしょうこさん)

ありがとうございました。いろんな人が集まってくる場が楽しかったです。

次回も、楽しみ。

(黒川に来た日本語教師の友人・もりさちよさん)





お疲れ様でした。  
 一日しか行かれず 残念でした！  
 来年はセッションに参加します(笑)  
 (ベリーダンサー・シャンテヒさん)



(おまけ)  
 東京在住の最も信頼 愛する男 ほぼ家族  
 アーティスト吉田 了介さま  
 東京にて新たな時空間を展開中です。  
 自分の中に入ってよくようなアート空間、素晴らしいです。  
 吉田ハンパないってーーーーですよ！  
 熱くてエネルギーのかたまり。  
 私の代わりにスキップしながら行ってきてくださいま。  
 愛も持って信頼できる地球家族が居てくれること。  
 ありがたい。ありがたい。  
 吉田了介の世界に触れてみてください最高です。  
 個展が終わったところちょっと疲れて顔もエネルギーもホーチミンになります。  
 (黒川に来た舞踏家・小田原真理子さん)

下の写真は空間奥のカマクラの入口から撮影。  
 この中で癒されたという人がたくさんいました。



最終日最後に来てくれたのは、  
 大学生時代にうちにバイトに  
 来てくれてたアコさん。今は  
 お母さんになり小さな息子を  
 連れて。



合気道仲間も全員来てくれました。左から2人目  
 が師範代行の元警視のあべさん。中央前の私の隣  
 が最年少の高校二年生で左端がその父親。右の二  
 人がご夫婦で奥さんは年明け1月にご出産予定。

空間全体を入口から眺める。  
 手前が夏の蚊帳、奥が冬のカマクラと説明した。